

ネオシールド 調整 トランスファーシステム

NEO SHIELD
脱ガム菌培養・脱汚コロームシステム・ネオシールド


ネオシールド 調製 使用手順

JMS


1. 準備

調製に必要な器材


- バイアルカバー ●バッグアダプタ
- トランスファー ●シリンジ/菌液/菌液バイアル/希釈液



1 バイアルカバーを接続し
ツメをおさえる




2 バッグアダプタを接続




3 トランスファーに
シリンジを接続


2. バッグから採液




1 トランスファーを接続



2 コックをバッグ側に回転




3 採液




4 コックを水平にして
全方向 OFF


3. バイアルに注入



1 バイアルを接続




2 コックをバイアル側に回転



3 注入

※正立



4 コックを水平にして
全方向 OFF


4. バイアル交換



1 止まるまで
バイアルを引き抜く



2 リリーススイッチを押す

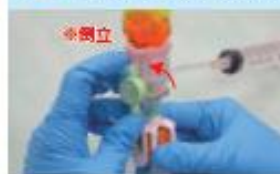


3 バイアルを引き抜き、
次のバイアルに交換




4 溶解

5. バイアルから採液・計量




1 コックをバイアル側に回転


※側立



2 パージボタンを押す




3 採液




4 エアー抜き、計量

※正立


6. バッグに注入




1 コックをバッグ側に回転



2 注入



3 レバーを押して取り外し



4 カバーを取り付け、
払い出し

ネオシールド 調整 マルチスパイクシステム 使用手順

1

準備



- 1 マルチスパイクを接続し、ツメを押さえます



- 2 バッグアダプターを装着します



- 3 レバーロックをロックシリンジに装着します

2

溶解液採取



- 1 バッグアダプターにレバーロックを装着します



- 2 溶解液を採取します



- 3 レバーを押し、接続を切離します

3

バイアル注入



- 1 マルチスパイクにレバーロックを装着し、陰圧法（ポンピング）にて溶解液を注入します



- 2 レバーロックを押し、シリンジを外し他後に、薬剤を溶解します。

POINT

シリンジ内の空気が不要な場合は、輸液バッグに空気を返します

4

薬液採取



POINT
バイアル採取前に、採取する量の空気を輸液バッグからシリンジ内に入れておきます



- 1 マルチスパイクにレバーロックを装着し、陰圧法（ポンピング）にて溶解液を採取します



- 2 レバーを押し、接続を切離します

5

バック注入



- 1 輸液バッグにレバーロックを装着し、薬液を注入します



- 2 薬液注入後、レバーを押し、接続を切離します



- 3 バックアダプターに保護カバーを付けて、払出します

ネオシールド 投与ライン Yタイプ 使用手順

POINT

安全な切離しのために!!

引っ張らないことが
ポイントです



レバーつまみます



ロックが解除され、シールドの反動で自動的に切離します



シールドの反動が無くなってから、取外します。

1. プライミング～前投薬投与



1 クランプを閉じます



2 前投薬バッグに瓶針を挿入します



3 流路切替バーを側管側に向けます



4 点滴筒をポンピングし、半分程度液を満たします

輸液ラインをプライミングした後、留置針等に接続し、前投薬を開始します



5 前投薬が終了したら、クランプを閉じます

2. 抗がん薬投与 カチッ



1 HD輸液バッグに装着された、バッグアダプターのキャップを取り外します



2 レバーロックをバッグアダプターに装着しますカチッと音がします。



3 流路切替バーをメインルート側に向けます



4 点滴筒を1～2回押し、側管ラインをプライミングします。

クランプにて流速を調製し、抗がん薬の投与を開始します



5 投与が終了したら、クランプを閉じます。次の投薬がある場合は、レバーロックのレバーを押してラインを切り離し、次の薬剤のバックアダプターに接続します。

ネオシールド 投与ライン シングルタイプ 使用手順

POINT

安全な切離しのために!!

引っ張らないことが
ポイントです



レバーつまみます



ロックが解除され、シールドの反動で自動的に切離します

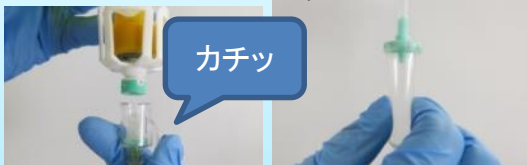


シールドの反動が無くなってから、取外します。

1. プライミング～前投薬投与



1 クランプを閉じます



2 前投薬バッグにレバーロックを装着します



3 点滴筒をポンピングし、半分程度液を満たします

輸液ラインをプライミングした後、留置針等に接続し、前投薬を開始します



4 前投薬が終了したら、クランプを閉じます



5 レバーをつまみレバーロックを取り外します

2. 抗がん薬投与



1 HD輸液バッグに装着された、バッグアダプターのキャップを取り外します



2 レバーロックをバッグアダプターに装着します。カチッと音がします。

クランプにて流速を調製し、抗がん薬の投与を開始します



5 投与が終了したら、クランプを閉じます。次の投薬がある場合は、レバーロックのレバーを押してラインを切り離し、次の薬剤のバックアダプターに接続します。

バッグアダプターの装着



輸液バッグのポートに、バッグアダプターの瓶針を直すぐ穿刺します。